

形成外科

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) 形成外科の診療は他科とはかなり趣が異なります。皮膚腫瘍・皮膚癌、顔面裂傷のような基本的な外傷から、顔面骨骨折や熱傷、悪性腫瘍の再建、頭蓋顔面の先天異常や手足の先天異常など様々な疾患を扱います。また新生児から老人までのあらゆる世代の患者を扱います。それぞれの疾患の診察や治療について、外来診察や手術への参加によって理解を深める。
- 2) 基本的な縫合の手技を練習し習得する。
- 3) 体表各部位の形態・名称・特徴を理解し、手術記録を正確に作成出来るようになる。
- 4) 日常診療における皮膚腫瘍やあざ、顔面の異常や外傷などの疾患の鑑別・診断方法や治療法を理解する。
- 5) 当科は主に唇顎口蓋裂（2014年DPC全国ランキング7位）や小耳症（同8位）などの頭蓋顔面の先天異常や、眼瞼下垂（同15位）や内反症などの眼瞼疾患、乳房再建（中四国最多）などの再建手術を主とした特徴のある症例を扱い、小さい手術も含めると年間1500件という中四国ではトップクラスの件数の手術を行っています。実習期間は一つでも多くの手術に参加するようにしてください。

広島市立広島市民病院

【注意事項】

- 1) おおむね他科と同様で、常識の範囲内でしっかりして頂く必要があります。
- 2) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。

形成外科は体表の形態や顔面の外見的な問題を扱うため、非常にデリケートな診療科です。プライバシーへの配慮、守秘義務は最大限に注意を払って下さい。また、患者さんから不審・不愉快に思われないように言動には注意して下さい。

【実習の内容】

- 1) 月曜日、水曜日、金曜日は手術日です。2列並列で行っていますので、興味のある手術に1件でも多く入る様にして下さい。
- 2) 参加した手術には出来るだけその日のうちに手術記録を作成して下さい。執刀医に添削・指導を受けることで手術内容への理解を深めます。
- 3) 火曜日、木曜日の午前中は外来診療です。4列の診察室を適宜見学して初診では診断や説明、術後の患者の診察では手術による術前術後の変化などを実際に見ることが形成外科での経験値になります
午後は病棟処置の後、外来で小手術、言語外来（月2回）、レーザー、夕方から術前説明があります。その後、各症例について作図の相談や症例検討を適宜行います。
- 4) 縫合の器材、顕微鏡など使用できますので、日常業務終了後に練習可能です。

【当科の週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	手術	外来	手術	外来	手術
午後	手術	外来手術 レーザー	手術	外来 レーザー 言語外来	手術

広島市立広島市民病院

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
回診での患者提示のでき具合	10点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点
学生用カルテの内容	10点
ポートフォリオの内容	20点
部長試問	20点

【実習指導医】

木村得尚 主任部長

身原弘哉 部長

荻野秀一 副部長

夏目沙里 副部長